新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～１月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。　レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

伝記を読むと、ピンチの時こそ前に進むチャンスをつかんでいる人がたくさんいることが分かった。わたしもチャンスを見逃さないようにしたい。（５年女子）

スキー場から見えた夕やけと街の明かりがとてもきれいだった。（５年男子）

雪をほったら地面が見えた。冬なのに、雪の下では緑の草が青々と生えていた。生命力がすごいと思った。（６年女子）

センスオブワンダーを書こうとしたら、いろいろなことを思い出した。自分が日常の中で不思議や驚きなどをたくさん感じていることに気づいた。（６年男子）

今年最後の満月「コールドムーン」を見ようとしたら曇っていて残念だった。でも、満月の真ん丸のわくがうっすら輝いていて、とても美しかった。（６年女子）

調理実習で、キャベツやニンジン、ブロッコリーをゆでたら、湯の中で動いていた。まるで踊っているようで、びっくりした。（５年女子）

炊飯器の落とせないと思った汚れが、いろいろ試してみると、意外に落とせた。「難しいと思ったことでも試行錯誤すれば答えが出てくる」と思った。（６年女子）

屋根の上に積もっている雪がはみ出していて、落ちそうで落ちない。雪には「固まる力」があるのだろうか。（５年女子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第９号　　R3.1.28